

Nome0.25 ドキュメント

飯高敏和

2013年9月28日

Xoops モジュール Nome0.2 のマイナーチェンジバージョンである、Nome0.25 を作成しました。受講者ユーザが問題に答えた後に、ワンポイントアドバイス等を提示する機能が加えられました。また、旧バージョンから引き続き、ckeditor、Y. Swetake 氏の Or_img0.5 i と Google のグラフとビューアの API および Xoops の入力フォーム の改造版を使わせていただいています。開発者の方々には、心からお礼を申し上げます。

1. 追加機能

授業中に行う小テストや投票や練習問題は、回答後には、教員が打ち切るまでは、受講者側には何も表示されていなかった。これが、比較的熟達度の高い受講者に、長い待ち時間を強いてしまい、参加型・双方向授業にマイナスの影響を与えていた。

これに対して今回は、待ち時間に参考資料を読むことができるようにした。

2. 修正

受講者側から出席状況を確認する際、「課題提出率」で出欠をとると、資料が設定されている場合、正しく出席状況が示されなかったのを、そこを修正。

3. 動作環境

主に Windows7 の Xampp1.7.7 上で、XoopsCube2.2.1 で動作を確認。

4. アップグレード方法

STEP1:通常の Xoops モジュールアップグレードをします。

STEP2 : norm/data フォルダを読み書き可能にします。

STEP3:norm/data/constant.php を削除します。

STEP4:norm/admin/index.php にアクセスします。

5. 待ち時間表示をするには

待ち時間における表示を設定するためには、管理者側の授業イベント設定において、表示を作成する必要があります。

5.1 管理者側

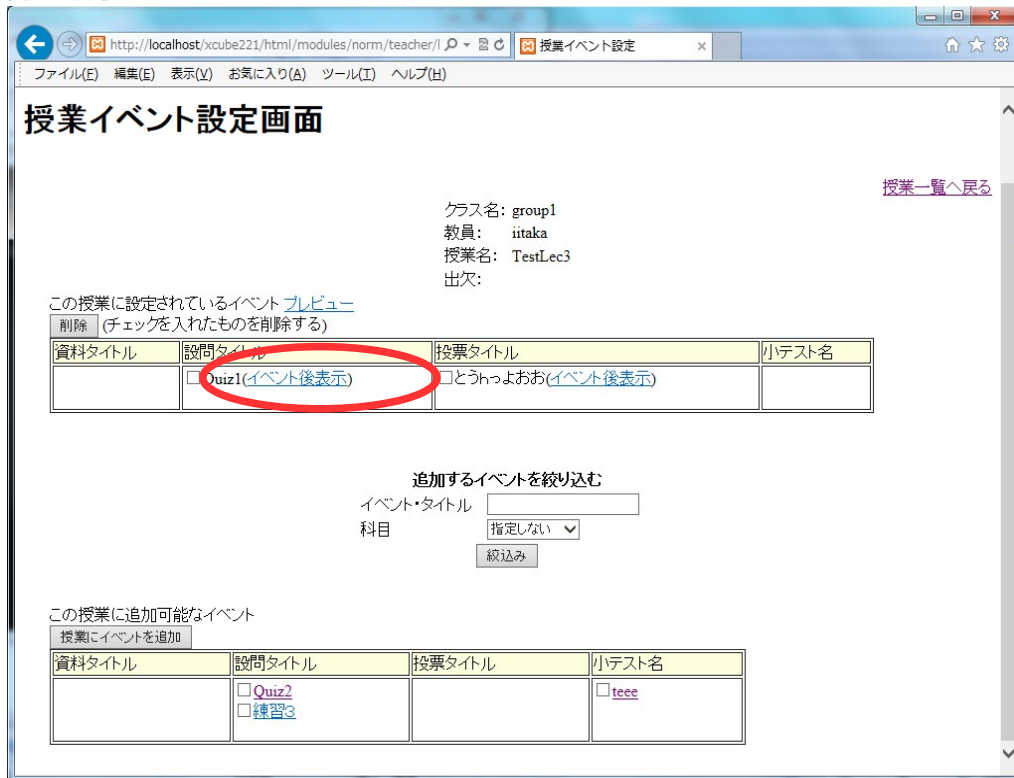


図1 イベント設定画面

イベント設定画面で設定したイベントのうち、待ち時間が生じるもの(設問、投票、小テスト)の右には「イベント後表示」のリンクが表示されます。これをクリックすると、図2の「イベント回答後記事一覧」が表示されます。

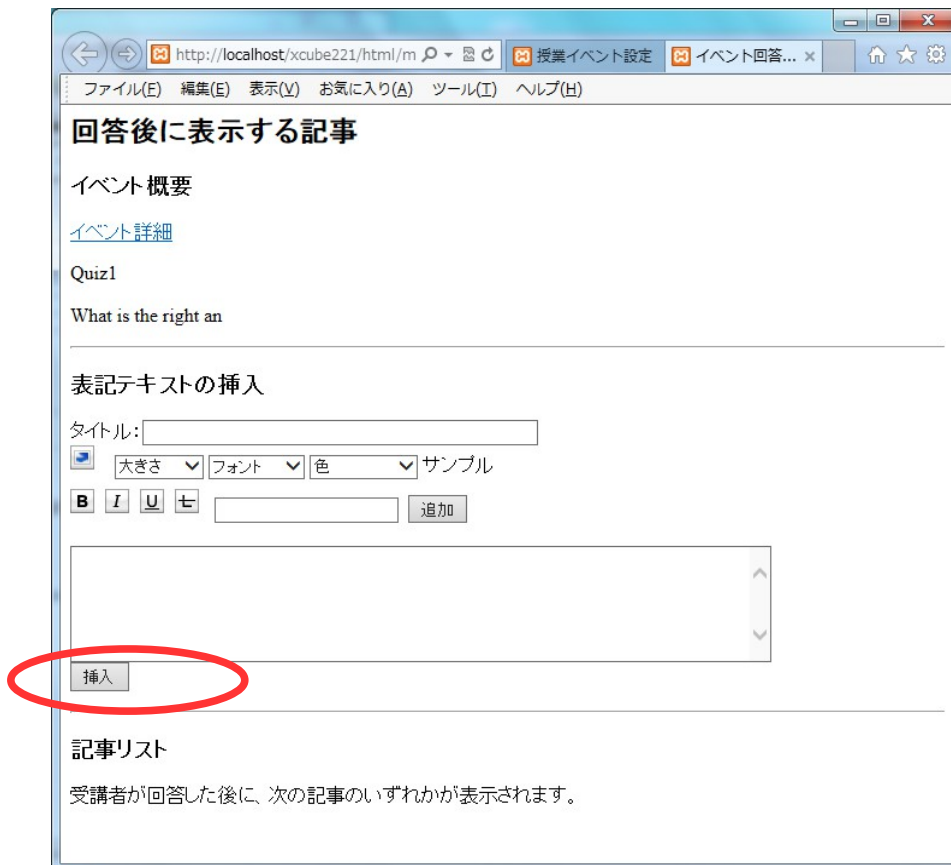


図2 イベント表記後記事一覧

フォームに入力して、「挿入」を押すと、記事を挿入できます。その下の一覧に表示される記事のうちいずれかが、ランダムで表示されます。

5.2 ユーザ側

イベント後表示の設定がしてあるイベントにおける待ち時間には、記事が設定してあるには、設定してあるものがランダムで表示されます。

6. 今後の展開

現在では、単に記事を表示するのみだが、練習問題等をできるように改善していきたい。